

## 第76回全日本弓道大会 実施要項

1. 目的 弓道技能の向上および弓友相互の親睦を図るとともに、弓道の発展に寄与することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 京都府・京都府教育委員会・公益財団法人京都府スポーツ協会  
(申請予定) 京都市・京都市教育委員会・公益財団法人京都市スポーツ協会
4. 主管 京都府弓道連盟
5. 期日 令和7年5月2日(金)・3日(土)
6. 会場 京都市勧業館「みやこめっせ」  
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1  
京都市営地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 個人競技
9. 演武種別 有段者の部・錬士の部・教士の部・範士の部
10. 競技種別 有段者の部・錬士の部・教士の部
11. 競技内容 的中制(坐射・直径36cm霰的)
12. 競技日程 5月2日 矢渡  
演武 範士の部  
演武・競技 有段者の部  
表彰式  
5月3日 演武・競技 教士の部、錬士の部  
表彰式
13. 演武方法 (1) 各部とも一手1回とし、原則として各射場5人立で行う。  
(2) 有段者の部・錬士の部・教士の部は「競技における行射の要領」で行う。  
(3) 範士の部は「審査における行射の要領」で行う。
14. 競技方法 (1) 有段者の部・錬士の部・教士の部の演武皆中者により行う。  
(2) 各部とも「競技における行射の要領」で行う。  
(3) 射詰競射にて順位を決定する。射詰の3射目以降は、直径24cm星的を使用する。  
また、的中を逸した同位者は、直径36cm霰的を使用し遠近競射で順位を決定する。  
(4) 最上位者を決定する射詰競射において、5名以下になった場合、一手を持って入場する。  
行射後は、本座まで退がり、進行委員の指示において的中を逸した選手は退場する。
15. 表彰 有段者・錬士・教士の各部優勝から3位までに賞状及びメダル、4位と5位に賞状を授与する。
16. 参加資格 (1) 錬士・教士・範士の各部は本連盟の称号受有者とする。  
(2) 有段者の部は本連盟の称号者を除く四段以上の者とする。  
(3) 本大会は大会役員、及び競技役員も参加できる。
17. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
18. 参加申込 参加申込書は氏名欄を除き、パソコン入力を可とする。**氏名欄は自筆**により明確に記載すること。
19. 参加料 1名：5,100円

文京締切 1/30 (木) 香川

「参加料」及び「参加申込書」を提出の上、申込一覧に記名の事